

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
簿記原理	藤田 美咲	講義	4		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>すべての経済活動の背後には必ず会計がついてまわります。 企業の活動内容を数字から理解し、成果を測り、状況を把握し、そして将来をよむ。これらのことを可能にするための基礎として簿記の基本を学びます。 最終的に日本商工会議所簿記検定3級レベルの基礎力を修得することを目標とします。</p>						
到達目標	<p>授業内で取り扱った問題について、自分で解けるようになり、簿記の基本を理解する。</p>						
回	学習内容		回	学習内容			
1	ガイダンス、簿記の基礎(簿記とは)		16	試算表			
2	簿記の基礎(5要素)		17	決算整理(現金過不足)			
3	日常の手続き(ルール・一巡)		18	決算整理(貯蔵品、当座借越)			
4	商品売買(仕入・売上)		19	決算整理(売上原価)			
5	商品売買(売掛・買掛)		20	決算整理(貸倒れ)			
6	商品売買(返品・諸掛り)		21	決算整理(減価償却)			
7	商品売買(商品有高帳)		22	決算整理(経過勘定)			
8	現金・預金		23	決算整理後残高試算表、精算表			
9	小口現金・クレジット売掛金		24	帳簿の締め切り			
10	手形取引・電子記録債権		25	損益計算書と貸借対照表、株式の発行			
11	帳簿		26	剰余金			
12	その他の取引(貸付・借入)		27	税金			
13	その他の取引(有形固定資産)		28	証憑と伝票			
14	その他取引(仮払・仮受・給与)		29	確認テスト及びまとめ			
15	訂正仕訳		30	補足・質問			
予習内容 復習内容	<p>予習; 前回内容を振り返り、今回内容の前提を確認しておいて下さい。 復習; 授業中に扱った問題をもう一度解きなおして下さい。</p>						
教科書	(テキスト)「合格テキスト 日商簿記3級」 TAC出版						
成績評価	<p>出席は毎回とります。 全授業回数数の3分の1を超えて欠席すると、評価の対象外とします。 試験80%に平常点(出席状況、講義中の態度)20%を加味して判定します。</p>						
実務経験	<p>公認会計士としての監査法人勤務経験があり、現在は税理士として税理士法人を運営。当該実務経験をもとに実際の企業における会計・税務実務や管理会計の状況、経営手法や現代企業における課題などについても織り交ぜます。</p>						
その他 特記事項	<p>講義には電卓をご用意ください。</p>						